

令和5年度 第1回市長タウンミーティング概要

と き：令和5年4月15日（土）
午後7時～8時30分
ところ：文化ホールくるる
参加者：109人

○市長あいさつ

（市長より、令和5年度の施策・予算についての説明が行われました。）

○意見交換

質問（市民）

自転車事故で怪我をし、長期療養をしている知人がいますが、蕨市は、自転車用ヘルメット補助をすることのことで、非常によいことですし、頑張ってくださいと思います。

ところで、難しいことは承知していますが、障害者の入所施設を蕨に設置していただけないでしょうか。親も高齢になり、知らないまちではなく、近くで預けられたらと願っています。

回答（市長）

市民の皆さんに自転車用ヘルメット補助制度を大いにご利用いただきたいと思えます。

私も、重い障害を持つお子さんを抱える親御さんの声をたくさんお聞きして、これまでも何とかできないか取り組んできたところですが、重度知的障害者入所施設は、他の自治体の例を見ると、土地の安価な市街化調整区域に整備されているところが多い一方で、蕨市は、市内全域が市街化区域となっており、土地の確保や地代など、施設の運営者にとって厳しい状況があります。そこで、蕨市では、施設の運営実績のある社会福祉法人さんと蕨市でどうしたら整備が可能になるのか協議を行うとともに、市内に加え、近隣の戸田市とも一緒に協議を行っているところです。引き続き、障害者の皆さんの暮らしの場の確保に向けて、取り組んでいきたいと思えます。

質問(市民)

私たちの町会では、くるる・旭町公民館を使わせていただいておりますが、(人気が高く) 予約が難しい状況もあるため、町会会館の整備について検討を行い、建設資金の準備も進めてきました。ただ、場所がないため、駅前の市有地(現在、利用者の少ない駐輪場など) の貸与を考えていただけないでしょうか。

回答(市長)

町会会館の建設については、県で上限500万円、市で上限500万円、合計1000万円を補助する制度があるとともに、これまでも市が土地をお貸しすることもしてきたところです。町会で話がまとまりましたら、まず担当課の方にご相談いただければと思います。駅前の市有地については、再開発事業後の状況を見極める必要がありますが、町会は、防災、防犯、環境をはじめ、蕨のまちづくりにとっても大切な役割を果たしてくださっており、市としてもできる限り支援をしていきたいと考えています。

質問(市民)

蕨市では、独自に35人学級を実施してきたということですが、教員を市で確保するのは覚悟のいることではないかと思えますし、また、今、教員の長時間勤務などで働き方改革が課題となっていることについて、市の考えをお聞かせください。

また、市立病院の建替えについては、中央6丁目の地域でも喜んでいる声を聞きます。現在地に建て替えて、年数がかかるのではないかと考えていますが、建設の場所やベッド数、プランから設計、工事、更に完成まで具体的に何年かかるのか教えてください。

回答(市長)

まず、教員については、国が40人学級のなか(令和3年度から段階的に35人学級に移行)、市が全校で35人学級を実施するには、教員は、通常、県費採用ですが、35人学級に必要な教員を市費で採用しなければなりません。蕨市では、良い人材を確保するため、給与の引き上げなど、待遇面に力を入れてきており、新年度採用では、定員に対し、3倍以上の応募がありました。私も、市費採用の教員の良い評判を聞いており、これからも、努力をしていきたいと思えます。また、コロナで教員の先生方の業務が増大したため、サポートするスタッフを増員したり、保護者との連絡システムを導入するなど、先生方の負担を減らし、子ども達と接する時間の確保に取り組んできたところです。

次に、市立病院は、建て替えの方法については、現地で段階的に建て替えを行う方法、外来機能を一時移転させて、その間入院機能を休止して建て替える方法、別の場所に建設する方法の3つを検討しています。基本構想・計画に1年、設計に2年、そして工事となりますが、現在地で段階的な建替えは、構想から10年、別の場所に移転では、最短で5年となっています。今年度は、大変重要な時期で、年度の前半に、どの方法により、建て替えを行うのか決定をし、後半には、基本構想の策定に着手していきたいと考えています。私のイメージですが、現在のベッド数130床を維持し、救急医療を継続していきたいと考えています。

質問(市民)

今、病院の話をお聞きしましたが、西口再開発で図書館が移転した後に、現在の図書館の敷地などを活用して市立病院を建てられないかと思いましたが、いかがでしょうか。

回答(市長)

市立病院の建替えについては、いろんな方法を検討しているなかであり、具体的なお答えは難しいのですが、市立病院は、1万㎡弱の延べ床面積を必要とすることが想定されます。現図書館の敷地は、2000㎡くらいのため、厳しいかなと思います。貴重なご意見をありがとうございました。

質問(市民)

駅前で配られていたチラシに高齢者への補聴器購入費の補助や带状疱疹ワクチン助成のことが書かれていました。以前、带状疱疹ワクチンを受けようと思ったら、4万円くらいすると聞き、びっくりしたことがありましたので、実現していただければと思いますが、どこまで具体的に話は進んでいるのでしょうか。

回答(市長)

加齢で難聴になると、外出が億劫になってしまい、体が弱ってしまったり、また、認知症の発症のリスクにも影響があるなど、補聴器の重要性を感じています。私自身の考えとしては、健康保険の適用が望ましいと思っていますが、そうなるまでの間は、市として補助金を出すことは、病気の予防、医療費の面からも意義があると思いますし、現在、担当に検討させています。

带状疱疹は、様々な辛い症状や後遺症などもあり、ワクチンの定期接種化について国で検討されていると聞いています。私も带状疱疹ワクチンは、非常に効果

が高いと聞いていますので、まず、その間、市として補助していくことを考えています。なるべく早く実現できるように、対象など検討を進めていきたいと思いません。

質問(市民)

10年くらい前になりますが、子どもが夜、食道アレルギーで息苦しくなって、救急で市立病院に電話をしたのですが、内容をお話しした後に、年齢を聞かれ、「小児科は対応できないので、他をあたってください」と言われました。そこで戸田中央総合病院に連絡すると、蕨市立病院にと言われました。蕨の小児救急の対応は、どのようになっているのでしょうか。

回答(市長)

年数が経っているため、状況はわかりませんが、全国的に小児科医が少なく、救急の対応も医師の確保に苦勞している背景があります。蕨市では、小児の救急については、蕨と戸田で協定を結び、平日夜は、戸田中央総合病院で、休日は、蕨市立病院で対応する仕組みとなっています。戸田中央総合病院が、原則的な二次救急の対応として、まずは近くの病院にという対応をしたのかもしれませんが、いずれにしても、お話を聞いてから、他を案内したというのは、申し訳なく、ご案内のスキルも含め丁寧な対応できるように取り組んでいきたいと思いません。

質問(市民)

蕨市で今年度からマンション管理計画認定制度がスタートしましたが、今後、古いマンションのバリアフリー化やオートロック化についても支援をしていただけないでしょうか。

回答(市長)

蕨市では、今年、マンション管理適正化推進計画を策定し、マンションの維持管理の推進やマンション管理アドバイザー派遣制度、適正な管理を行っているマンションの認定制度を開始するなど、支援を強化しているところです。ご意見については、マンションは、個人の財産であるため、基本的に難しいところがありますが、インセンティブ、動機付けという点でどうかなど、今後、管理組合の皆さんの意見を聞いていきたいと思いません。

※ご質問いただきました内容に関して、担当課の確認など、その場でお答えできなかった内容を、加筆・修正して公開しています。